

北24条桜大橋「全建賞」受賞

2024.6.27

道新より

優れた建設事業として表彰を受けた北24条桜大橋
(札幌市提供)



北24条桜大橋に「全建賞」

難度の高い施工評価

優れた建設事業を表彰する全日本建設技術協会の2023年度全建賞都市部門に、札幌市東区東雁来と白石区菊水元町を結ぶ「北24条桜大橋」(全長319m、片側2車線)が選ばれた。難易度が高い施工方法を元了させた点が評価を受けた。

全建賞は全国の建設事業を道路、河川、都市など8部門で表彰するもの。71回目の今回は推薦のあった244事業のうち75事業(道内は3事業)が受賞した。

豊平川に架かる北24条桜大橋は、周辺の混雑緩和のために11年に事業着

手し、昨年8月に開通。総事業費は174億円。工事は川の対岸に向かって橋桁を継ぎ足していく「送り出し架設工法」を採用。河川敷で建設現場が限られたため、専用の工事機材を使用しない代わりに、橋桁に強度の高い素材を使い、橋にかかる重量のコンピューター制御などを取り入れた。この工法による施工事例は全国的に少なく、市内では初めてだった。

(吉川幸佑)